

第5回 公立幼稚園・保育所のあり方検討委員会 会議報告

日時	令和3年1月27日(水) 13時30分~14時15分
場所	愛荘町役場 愛知川庁舎 第4会議室
出席名	(出席者) 検討委員 6名(欠席2名) 事務局(子ども支援課) 5名 (教育振興課) 2名
会議内容	<p>1 開会 事務局</p> <p>2 あいさつ 委員長</p> <p>3 議題</p> <p>(1) パブリックコメント結果について 別紙のとおり</p> <p>【委員長】パブリックコメントの他に、町長への手紙や要望書もあったということだが、どのような内容か。</p> <p>【事務局】町長への手紙は25件、要望書は68人の署名だったが、預かり保育の時間の希望、長期休業中の預かり保育の実施についてが主な内容である。</p> <p>(2) 報告書・答申について 別紙のとおり</p> <p>資料の修正について</p> <p>【委員】21ページの(3)保育所の受入の拡大についてだが、ニーズの中に、「保育所に入れず」とあるが、就労要件に合わないために保育所に入れないということであれば、そのことを追記しておいたほうがよい。また、質の高い教育、保育の提供とあるが、保育園でも幼稚園でも、同じ教育・保育を受けられるということと言わないと、保護者の安心材料とならない。</p> <p>【委員】今の園を選んでいるのは、知っている友達が多く、安心して小学校へ進めるから。どこの園を選んでも安心して学校へ進めるというのがあれば、視野も広がり、いろいろなところを選びやすくなる。また、認定こども園化の検討というのがあるが、保護者にはとにかく、長い時間子どもを見てほしいという気持ちがあるため、保護者にこども園とはどういうものかの説明が必要だと思う。</p> <p>【委員】人材確保や、預かり保育の実施など、今できることからやっていったらいいと思う。例えば、民間保育園が公立よりも先に認定こども園になることはできないのか、また預かり保育をして待機児童が減るのかを検討しつつ、認定こども園を同時進行することはできないのか。</p> <p>【委員長】就学前の施設を選ぶ上で、一番大切だと思うことは何か。</p> <p>【委員】自宅から近いところがよい。何かがあったときに、すぐに駆けつけることができるため。</p>

【委員】知っている友達が多いところがよい。

【委員】保護者ニーズにすべて応えるのは難しい。認定こども園化しているところが多いのは、やはり、地域・子ども・親にとって一番よいとされるからだろうし、将来的に認定こども園を考えるのはよいと思う。

【委員】こういう方向でよいと思う。幼稚園の預かり保育の希望で8時からというのがあがるが、職員の働き方改革もあり、それは難しい。幼稚園の定員を減らすというのは、配慮が必要な子も増えており、現場としては、ありがたい。

【委員長】保育士の確保の際、有効な手段は？

【委員】募集年齢の幅を広げ、子育てが終わった方にも来てもらえるようにしたらよい。幼稚園の預かり保育の時間について、幼稚園と保育園の違いは出していないといけなないので、長い時間は無理である。9時から14時まで、どこの園でも同じ教育・保育が受けられるようにしなければいけない。人材については、オープンキャンパスのようなことをされている園もあり、魅力的な園であることをアピールしないと来てもらえないと思う。

【委員】他の市では、臨時的雇用の職員の契約は、1年ではなく、3年としているところもある。

【委員】採用の際、臨時的雇用の職員は、筆記試験を猶予し、実技試験だけにする。命を預かる仕事であり、だれでもよいというわけではない。

【委員長】どういう保育士を望むか。

【委員】経験が多いと安心するが、一生懸命さが伝わる保育士なら、キャリアや年齢関係なく安心できる。

【委員】誰でも一生懸命さが伝わる人なら年齢は関係ない。話を聞いて、いっしょに悩んでくれて、人の気持ちに寄り添ってくれる人であれば、安心できる。

【委員長】保育士確保について、事務局としてこれまで工夫してきたことはあるか。

【委員】採用の年齢幅を広げてきたが、最近、元に戻っている。県内の大学に求人をお願いしたり、早期に求人を出すようにしている。給料を上げるのが一番良いのだが、保護者ニーズが多いとそれに応えるのが大変と感じておられ、なかなか集まらない。

【委員長】保護者の過度なクレーム、ニーズには、きちんと保育をしてほしいという思いがあるが、もっとお互いに協力しなければいけない。

【事務局】これからの予定として、答申をいただき、町の方針をまとめる。一時預かりは早急にご意見をいただいているため、4月からの実施に向けて進めていく。今回、公立園についてのご意見をいただいていたが、町内には民間保育園が9園あり、民間なきにして進めることはできないので、こども園についての検討の際にも、民間保育園について触れていただいた。今後も、民間保育園の状況を念頭において、進めていきたい。